

令和4年度学校評価結果の考察

～結果の分析並びに今後の課題と対応策～

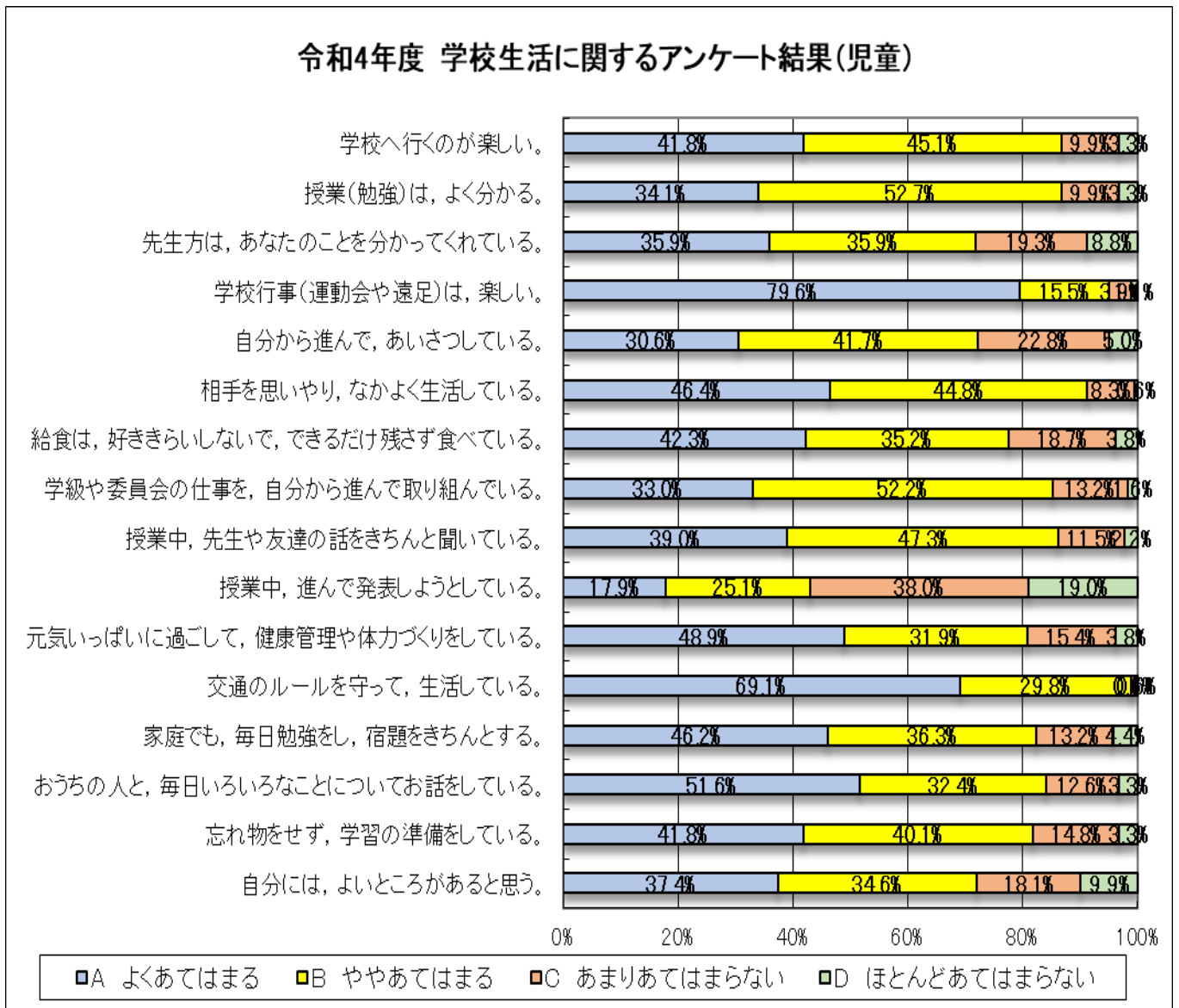
徳島市沖洲小学校

児童用，保護者用アンケートの結果について考察し，本校の課題を分析するとともに，来年度に向けての具体的な方策を考える。

1 児童アンケートから

児童アンケートは4段階（①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④ほとんどあてはまらない）で回答してもらっている。ここでは主に，①，②の割合（肯定的な意見）の和が80%を越える項目については，ほぼ達成と捉え，③，④の割合（否定的な意見）の和が20%を越える項目については課題と捉えていく。

【児童アンケート結果】



(1) ほぼ達成と捉える項目・・・()内は、A、Bの割合(%)の和

観点1	学校へ行くのが楽しい。	(86.9)
観点2	授業(勉強)は、よく分かる。	(86.8)
観点4	学校行事(運動会や遠足)は、楽しい。	(95.1)
観点6	相手を思いやり、なかよく生活している。	(91.2)
観点8	学級や委員会の仕事を、自分から進んで取り組んでいる。	(85.2)
観点9	授業中、先生や友達の話をしっかり聞いている。	(86.3)
観点11	元気いっぱい過ごして、健康管理や体力づくりをしている。	(80.8)
観点12	交通のルールを守って、生活している。	(98.9)
観点13	家庭でも、毎日勉強をし、宿題をきちんとする。	(82.5)
観点14	おうちの人と、毎日いろいろなことについてお話をしている。	(84.0)
観点15	忘れ物をせず、学習の準備をしている。	(81.9)

(2) 課題と捉える項目・・・()内は、C、Dの割合(%)の和

観点3	先生方は、あなたのことを分かってくれている。	(28.1)
観点5	自分から進んで、あいさつしている。	(27.8)
観点7	給食は、好き嫌いしないで、できるだけ残さず食べている。	(22.5)
観点10	授業中、進んで発表しようとしている。	(57.0)
観点16	自分には、よいところがあると思う。	(28.0)

(3) 考察

ほぼ達成と捉える項目は、11項目で、昨年の9項目から2項目増えた。内容からは、子どもたちは、学校生活の中で様々な活動に主体的に取り組み、自分がかんばったことを自覚していることが分かる。この達成感の積み重ねは、子どもの自尊感情の高まりや新たな問題解決に向かう自信につながってきており、有意義な学校生活を送っていることがうかがえる。

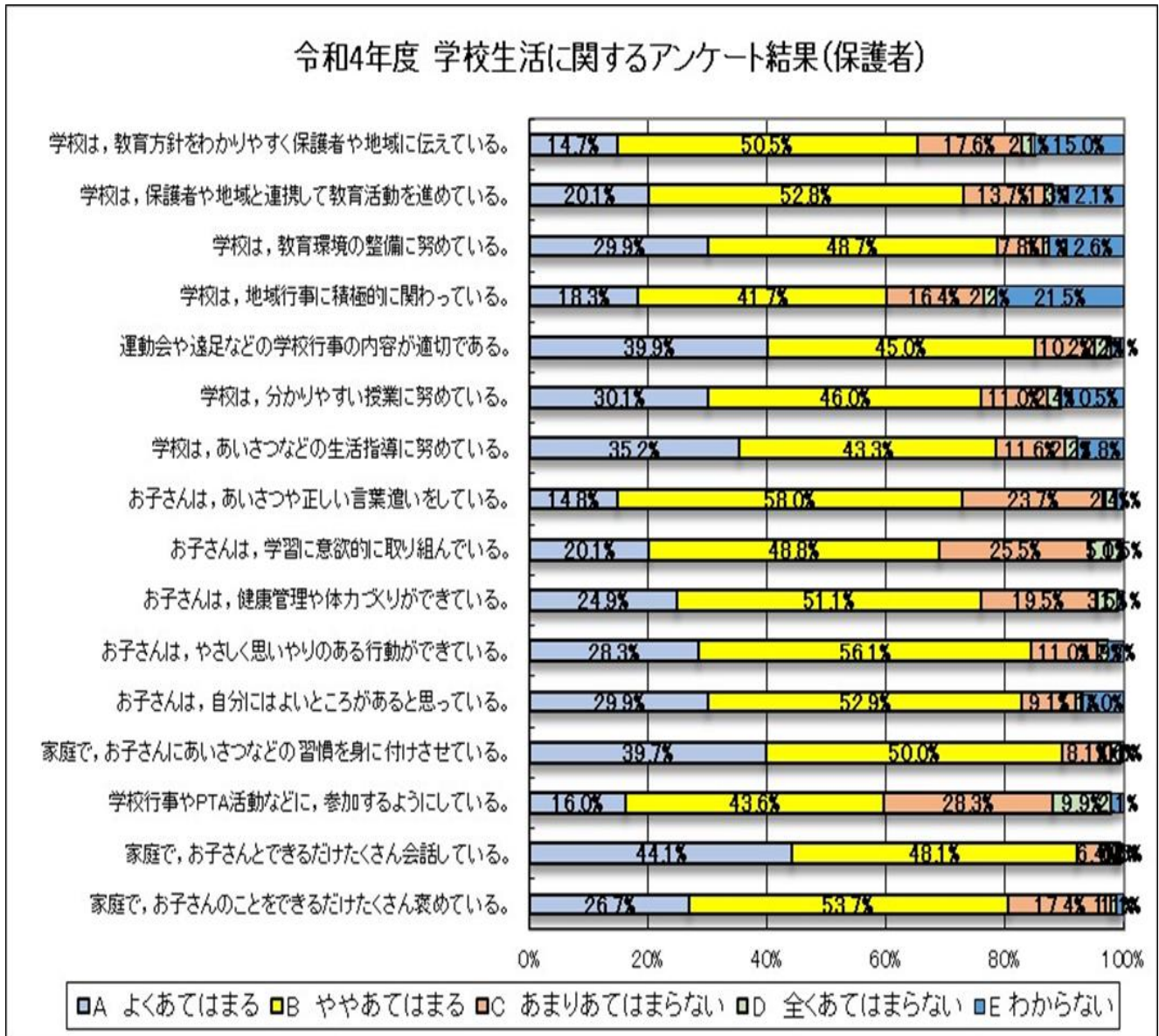
課題としてあげられている項目は、昨年の7項目から5項目へと減少し、改善がみられた。しかしながら観点10【学習意欲】については、57.0%が否定的な意見となり、大きな課題となった。この点については、来年度に向けて早急に、重点的に対策をとっていく必要がある。

また、観点5【あいさつ】や観点7【食事】などの生活習慣の確立も課題として挙げられている。基本的な生活習慣の確立については、学校だけでなく家庭と連携した取組を進めていく必要がある。

2 保護者アンケートから

児童アンケートは4段階（①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④全くあてはまらない ⑤わからない）で回答してもらっている。ここでは主に、①、②の割合（肯定的な意見）の和が80%を越える項目については、ほぼ達成と捉え、③、④の割合（否定的な意見）の和が20%を越える項目については課題と捉えていく。

【保護者アンケート結果】



(1) ほぼ達成と捉える項目・・・()内は、A、Bの割合(%)の和

観点 5	運動会や遠足などの学校行事の内容が適切である。	(84.9)
観点 11	お子さんは、やさしく思いやりのある行動ができています。	(84.4)
観点 12	お子さんは、自分にはよいところがあると思っている。	(82.8)
観点 13	家庭で、お子さんにあいさつなどの習慣を身に付けさせている。	(89.7)
観点 15	家庭で、お子さんとできるだけたくさん会話している。	(92.2)
観点 16	家庭で、お子さんのことをできるだけたくさん褒めている。	(80.4)

(2) 課題と捉える項目・・・()内は、C、Dの割合(%)の和

観点8	お子さんは、あいさつや正しい言葉遣いをしている。	(26.1)
観点9	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる。	(30.6)
観点10	お子さんは、健康管理や体力づくりができています。	(23.0)
観点14	学校行事やPTA活動などに、参加するようにしています。	(38.2)

(3) 考察

保護者アンケートの「本校の教育について(観点1～5)」の内容項目では、おおむね達成といえる項目が少なかったものの、課題となる項目はなかった。

ただし、昨年度と比較すると観点4【地域行事】において、昨年度より肯定的な意見が36.0%も減少している。これは、昨年度に引き続き、青少年健全育成主催の行事や地域の行事が中止となるなど、地域行事の減少が、結果に大きく影響していると考えられる。

ほぼ達成と捉える項目では、「お子さんの様子について(観点8～12)」の観点11【思いやり】・観点12【自己肯定感】、「保護者自身のことについて観点(13～16)」では、観点15【会話】・観点16【賞賛】の項目で、お子さんに対して肯定的な意見が多かった。この結果から、保護者が普段から子ども達たちの生活の様子に関心を持ち、一人ひとりの個性を認めながら、コミュニケーションを図っていることがよくわかった。

課題と捉える項目については、観点14【PTA活動】の項目が38.2%と高い。これも、観点4【地域行事】と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から行事を中止することが多かったことが起因していると考えられる。

3. 課題と対策

これらのことから、今後の課題と対策を次のように考える。

(児童)

【課題①】児童に寄り添い、個々の特徴や傾向を把握し、児童理解に努める。

[対策]

- ・ 児童が自己有用感を高められるような前向きな声かけに努める。
- ・ コミュニケーションをとる時間を増やし、相談しやすい雰囲気や環境を整える。
- ・ 受容的・共感的な態度で接することを大切にする。

【課題②】積極的に授業への参加できるようにする。

[対策]

- ・ 安心して発表できる雰囲気づくりに努め、まちがいに寛容な学級づくりに努める。
- ・ 誰もが発表できるような問いを考えるなど、発問を工夫し、できるだけ多くの児童が発表できるようにする。

【課題③】自己肯定感を高める。

[対策]

- ・ 朝の会，帰りの会などで自分を見つめたり，友達に認められたりする場を設ける。
- ・ 多様な考え方を受け入れ，一人一人のよさを認め合う場を設ける。

(保護者)

【課題④】保護者・地域等と協力・連携した学校づくりをすすめる。

[対策]

- ・ 学校行事などの見直しを図り，保護者が参加しやすい環境を整える。
- ・ 学校だよりやホームページなどで学校行事などを周知する。

(共通)

【課題③】望ましい生活習慣を確立する。(あいさつ・食事等)

[対策]

- ・ 代表委員会を中心にあいさつ運動を定期的に，重点的に行う。
- ・ 食事の大切さなど，食育に関する授業を充実する。
- ・ 学年だよりなどを通じて基本的な生活習慣の確立に向けた啓発を行う。

3 全体考察 ～今後に向けて～

学校評価での保護者の結果や教職員の自己評価から，「地域・家庭との連携」が大きな課題となっている。新型コロナウイルスの感染拡大から3年余り。この間の様々な行事の縮小や中止により，学校と家庭・地域とのつながりという面で，少し弱くなってきていることを裏付ける結果となった。

来年度は，新型コロナウイルスの感染状況をみながら，地域の人材を活用した体験的な活動やPTA活動を中心とした学校行事などの見直しを図り，地域や家庭との積極的・協力的な関係を築いていきたい。

今回いただいた保護者，地域の学校に対する期待や意見を真摯に受け止め，それに対して，具体的な実践をとおして，その成果を反映した子どもの姿で応えていきたい。